

平成 29 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	呉市立広小学校		
学校長氏名	山高 正樹	栄養教諭氏名	上野 朋佳
職員数	43名	児童・生徒数	614名

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- 朝食欠食児童の割合が4%で、固定化している。
- 協力して給食の準備を行うことができず、時間がかかったり乱雑に食器を返却したりする等、準備や後片付けの仕方に課題がある。
- 野菜類、豆類、海そう類、乾物を使用した献立のときに平均的に約1割の残菜があり、それらの食材を苦手とする児童が多い。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- 早寝・早起き・朝ごはんの取組（朝食を食べる児童を100%に近づける。）

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 早寝・早起き・朝ごはんについての取組

○保護者への取組

- ・PTA給食学習会で、朝ごはんについての啓発
- ・学年懇談会で朝ごはんについて話し合いを実施
- ・簡単にできる朝食メニューの紹介



○児童への取組

- ・各教科による指導（学級活動等）
- ・全校朝会

「生活リズムについて考えよう」

「朝ごはんを食べよう」

- ・児童会「健康給食委員会」

校内放送による呼びかけ

掲示物の作成

- ・給食放送

朝食の必要性、生活リズムについて

- ・長期休業中の生活リズムを整えるための「めざましアンケート」の実施

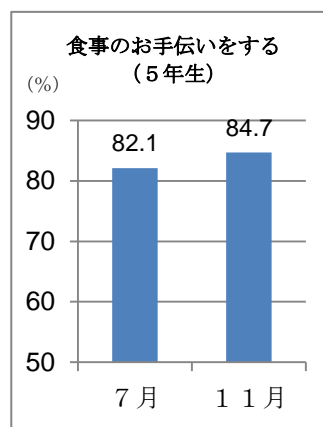
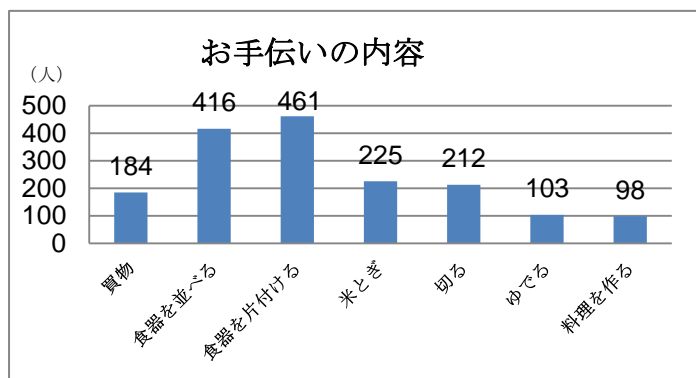
- ・夏季休業中の課題 「つくってみよう！自分の朝ごはん」

- ・早寝・早起き・朝ごはん・外遊びについて「いきいきチャレンジ週間」の実施（年2回）



【取組2】（テーマ） 食事のお手伝いについての取組

- ・全学年に対して、「ひろしま食育ウィーク」の期間に食事のお手伝いをしようという取組を行った。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

○保護者と連携した取組

- ・PTA給食学習会で、「ひろしま給食100万食プロジェクト」についての説明を行った。
「広島レモン入り小松菜マドレーヌ」をアレンジしたものを一緒に調理した。簡単に作ることができ、朝ごはんにもおすすめであることを紹介した。
- ・「ひろしま給食100万食プロジェクト」の依頼文とともに、食育通信を配付した。

○児童への取組

- ・給食室横の掲示板上に、「ひろしま給食100万食プロジェクト」についての掲示物を作成した。
- ・夏休み子ども料理教室で、「熱く燃えろ!! Cスープ」, 「ひろしまいい子いりこ」をメニューに取り入れた。
- ・委員会活動において、広島県の地場産物について学習し、掲示物を作成した。「広島レモン入り小松菜マドレーヌ」と「ぎょうざアップルパイ」の調理を通して、さらに理解を深めた。

○教職員への取組

- ・教職員用資料を作成し、教職員への周知徹底を行った。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- 朝ごはんを食べて登校する児童は、アンケートの結果98%であった。
- いきいきチャレンジ週間では、早寝早起き朝ごはん、外遊びが全てできたという児童が100名以上いた。生活習慣を意識する強化週間を取り入れることで、自分の生活週間を見直す児童が増加した。

【課題】

- 朝ごはんを食べない児童が固定化している。
- 早寝早起きができていない児童が約3割おり、基本的な生活習慣が確立していない児童が多い。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- 全教職員が共通認識を持って食育に取り組めるよう、効果的な研修を計画・実施する。
- 望ましい生活習慣の確立を目指し、朝ごはんを食べて登校する児童100%を達成するように保護者・児童への啓発を継続して行う。